

解 答 速 報



近畿大学 一般選抜後期

英語 医特

医学部受験予備校

1	2	3	4	5	6
イ	ア	ア	イ	ウ	ア

7	8	9	10	11	12	13	14	15
イ	ア	ア	ア	エ	エ	ア	エ	ウ

16	17	18	19	20	21	22	23
ア	エ	ア	イ	オ	ア	ウ	イ

24	25	26	27	28	29	30	31
イ	イ	オ	イ	ア	オ	オ	オ

32	33	34	35	36	37	38	39
イ	エ	イ	イ	エ	オ	ア	ウ

【講評】

小問 (問 A～C) : A から C の問題は例年通りの難易度だった。(3)の be cross 「怒る」, (5)pull out all the stops 「全力を傾ける」といった難易度が高めの語句が含まれているものもあったものの, (1)make ends meet 「収支を合わせる」, (4)turn to ～ 「～に頼る」, (6)shed light on ～ 「～を解明する」など, 標準レベルのイディオムも混じっていた。医学部の過去問を通じて語彙レベルを高めるべく学習してきたはずなので, ここでのミスをもっと抑えたい。(C)は例年通り, 文脈の中での語句の言い換えを見させる問題が多かった。

長文 1 (問 D・E) : New York Post 誌の 2025 年 6 月 19 日付の記事 *ChatGPT is getting smarter, but excessive use could destroy our brains, study warns* が出典元で, 「学業課題における AI ツール利用が脳に及ぼす影響」についての英文であった。問題 E では, 該当箇所と照らし合わせて, 消去法を駆使して正答率を高めたい。問(19)に関して, オを正解とするには, the effects of brain function ではなく the effects on brain function とすべきである。それ以外に答えとして適切な選択肢を探すとなればイということになる。

長文 2 (問 F・G) : 「カリビアンリーフシャーク (ペレスメジロザメ) の保全活動」についての記事であった。問題 G は全てが Q&A 型の問いだったので, あらかじめ問われる内容を明確にした上で読解するのが効果的である。こちらもしっかりと消去法を駆使して取り組む必要がある。問(31)は, オを正解にする根拠が読み取りにくかったかもしれない。「責任感を持ってシャークダイブ・ツーリズムを行うこと」= (第 4 段落第 1 文後半の記述)「サメに与える魚の量を管理すること」であり, そこからオの内容「サメに対して安定的な食糧が供給される」と推察できるのみである。ア～ウは消去しやすい選択肢だろう。エ「シャークダイブ・ツーリズムが産出する利益が minimalだ」ということが本文からは読み取れない。

長文 3 (問 H) : 「産褥熱予防のための手洗いの提唱者ゼンメルヴァイス」について書かれた半ば伝記的な英文であった。こちらはいつも通り, パラグラフの流れ通りに 1 問ずつ解き進めることができる問題であった。例年よりボリュームアップしていたが, 読みやすい内容だった (3 題の長文の中で一番易しい作りだった) ためさほど苦労しなかったはずである。この長文ではミスが命取りになる。問(37)に関しては, エ・オの判定が悩ましいところだが, 第 6 段落の展開では, エの言う「外国人であるがゆえに意見が排斥された」というまでの言及

出題傾向・分量ともに変化は見られなかった。合格には 60% を目指したい。



メルマガ登録 (無料) または LINE 公式アカウント友だち登録 (無料) で全教科閲覧できます!
メルマガ登録は左の QR コードから, LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5</p> <p>CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3-4</p> <p>江坂第 1 ビル 3F</p>
<p>個別専門館</p> <p>麹町 FC 校</p> <p>TEL : 03-6272-4175</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校</p> <p>医学部特訓塾</p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2</p> <p>第二大同ビル 2F</p>	